

「きょうと里親支援・ショートステイ事業拠点」の愛称について

応募総数274点のうち、一時選考を通過した38点を掲載

名 称	込められた思い（記載のまま）
ほっとはぐ	子どもたち、そして子育てに奮闘する人々を、熱く抱きしめるような想いで支援して行ってほしいと願いを込めて、考えました。
はぐくみの家	「京都はぐくみ憲章」に沿った事業であることから、はぐくみを取って「はぐくみの家」とした。
京のゆりかご	本当の親元のように安心してもらえる場所を京都の人が皆で提供しているから。子どもにとって心地よい環境であることが分かる名前にしました。
えみてらす	温かい愛情持って子どもたちを迎え、子どもたちの笑顔（笑み）を明るく照らし、支える場所を思い浮かべ、名付けました。
ほっこり	ふるさとや実家に帰るような感覚になって、ゆっくりとさせていただくために京都弁の「ほっこり」を使用しました。
きらら	子どもたちがキラキラと輝けますようにとの思いを込めて。
えみぴあ	笑顔の「笑み」に、ユートピアや広場・仲間の「ピア」をつなぎ、たくさん子ども・子育て家庭の笑顔を育む、開放的な里親支援・ショートステイ事業拠点という思いを込めました。
さとぼす京都	里親の「里」と、支えるを表す「サポート」、 「ショートステイ」の中の、それぞれの文字を組み合わせ「サトポス」とし、「京都」をつなぎました。一部、ひらがな表記は親しみ、優しさ、柔らかさ等を出すためです。
ほっこりの家	ほっとする、安堵するという意味を持つ京都の言葉「ほっこり」を使い、ほっこりの家としました。この施設を通して支援施策を利用した子ども・子育て家庭が、ほっこりを感じてくれることを願っています。
とまり木	ここの施設を、ショートステイでちょっとの間だけ利用したり、実の親と暮らすまでの間利用する、という意味。あくまでここはとまり木であり、みんなここから自分の本当の居場所を見つけて旅立ってほしいという気持ちを込めて。
はーとぼけっと	子どもたちへの温かい愛情がいっぱいつまった場所を思い浮かべ、名付けました。
はぐはぐ	「はぐ」を2回重ねました。里親支援とショートステイの2つの事業をイメージしました。「はぐ」には2つの意味があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・はぐくみプランの「はぐ」で、里親が育む、ショートステイで育むの2つの育むです。さらには、ショートステイをイメージし家庭で育む、一時預かりで育むの2つの育むです。 ・「はぐ」は「ハグ」で、抱きしめるの意味です。2つの事業が愛情をもって子どもを養育するイメージです。

子育て BASE まんたん	「拠点、基地、出発点」などの意味がある BASE。子育ての BASE として、いろんなパワーを満タンにする場所、そんな願いを込めて名付けました。里親さんが相談・相互交流し、養育能力の向上や支援ノウハウの共有でパワーアップする場所に、そして、育児に奮闘する子育て家庭がショートステイ事業の利用によって一息ついてエネルギーチャージできる場所に！この施設が多くの子どもの笑顔につながりますように。
出会い ふれ合いの 古都	ショートステイ ⇒ ”ふれあい”を意識したものに。 里親 ⇒ ”人との出会い”を意識しました。出会い、ふれ合う人との交わりを指す ”こと” を京都に似合う響きとして ”古都” という字をなぞらえた形としました。
はぴぽっと	幸せのハッピーと拠点のスポットの合成語です。幸せが叶う拠点の意味を持ちます。イメージが容易にわき、利用が豊かになる願いを込めた愛称です。
ほっとホーム	すべての子どもにとって、ほっとくつろげる家になるように、その拠点になるようにとの気持ちを込めて名付けた。
杉の子ホーム	京都府の木が「北山杉」ということから考えました。天に向かってまっすぐ成長していく杉の木。その杉の姿に子どもたちの成長のイメージを重ねています。「ホーム」とはその杉を温かい心で、見守り育て支援する居心地の良い場所のイメージで、使用しました。
はぐホーム	育む・ハグをメインイメージに、子どもたちの健やかな成長のサポートをするホーム（家庭・故郷）である様にネーミングしました。
ななふく・やよい	その親子共々に7つの「幸福」を、そして里親を受け入れる人も受け入れられる子どもたちも、うらかな春の希望と夢・少しの不安がありながら一年の内で一番いい春、その中でもスタート前のわくわくする季節丁度3月弥生。やわらかく、親しみやすく平仮名で「やよい」としました。
すまいるハウス	里親も子どもたちも、笑顔ですごすことができる拠点となりますように。また、我が家のように気持ちよく過ごせる場所であるようにとの思いから。
里の家	里親にとっても子どもを預ける大切な家。子どもたちにとっても自分のふるさとのように、いつまでも思い出に残る家となるように。
子は社会の鎧	子は鎧と言われるが、それは家庭を離れ、社会でも通用する言葉と成れば、里親支援・ショートステイ事業などの制度への理解も深まるに違いない。
あいサポきょうと	親子の「愛」「会い」「合い」の意味を込めた。サポはサポート＝支援。
ココア	子育て、コミュニケーション、安心、の頭文字から。
えみふる	笑顔＝笑みの「えみ」から、温かい愛情持って子どもたちを迎え、子どもたちの笑顔（笑み）があふれる場所を思い浮かべ、名付けました。
えみあす	笑顔＝笑みの「えみ」と、明日の「あす」を組み合わせ、温かい愛情持って子どもたちを迎え、子どもたちの明日を笑顔にする場所を思い浮かべ、名付けました。

あすえーる	明日の「あす」と、応援するの「えーる」を組み合わせ、温かい愛情持って子どもたちを迎え、子どもたちの笑顔があふれる明日を応援する場所を思い浮かべ、名付けました。
ゆいはーと	結ぶの「ゆい」から、温かい愛情持って子どもたちを迎え入れ、里親をはじめ子どもたちと様々な人たちとの心と心が結びつく場所を思い浮かべ、名付けました。
ゆいぼーと	結ぶの「ゆい」と、支援＝サポートの「ぼーと」を組み合わせ、温かい愛情持って子どもたちを迎え、里親をはじめ子どもたちと様々な人たちとの結びつきを支援する場所を思い浮かべ、名付けました。
はぐのいえ	ハグ（抱きしめる）／はぐくむ／のいえ（～の家）／のいえ（neue ドイツ語：「新しい」）から、子どもを育てる親・里親をハグするように親身になって応援する、一時的に家となって子どもを預かる京都の新しい拠点、という愛称です。
はぐすてーしょん	ハグ（抱きしめる）／はぐくむ／すてい（stay 滞在する）／すてい（stay 支える、励ます、頼れるもの）／すてーしょん（station 駅）から、子どもを育てる親・里親をハグするように親身になって応援する、子育て中にいったん止まって休める駅のような、ショートステイ機能を備えた頼れる拠点という愛称です。
さぼびあ	支援＝サポートの「さぼ」と、仲間の意の「ぴあ」を組み合わせ、子どもたちの仲間となり、温かい愛情を持ってサポート（支援）する場所を思い浮かべ、名付けました。
ゆいさぼーと	結ぶの「ゆい」と、支援＝サポートの「さぼーと」を組み合わせ、温かい愛情持って子どもたちを迎え、里親をはじめ子どもたちと様々な人たちとの結びつきを支援する場所を思い浮かべ、名付けました。
ぬくもりの家	ぬくもりのある家のようにあたたかく迎えることから名付けた。
ひだまりの家	ひだまりのようにあたたかく安心できる場という意味で名付けた。
のぞみ	子ども・里親・子育て家庭の持つ望みや願いを実現するための支援をする。
あったこ	あたたかいの「あたたこ」から。ここにある、見つけたの「あった」。場所を示すこの「こ」。「あたたかい心」に「出会った子」の意味も込めて。
ほっこりホーム	心落ち着ける、安らげる場所であるように。名称を呼びかけることで暖かな気持ちになれるよう。